

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	農村地域構造分析・計画論小委員会	主 査 名：坂本淳二 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：山崎寿一
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>農村国土計画小委員会の成果である農業集落・市町村単位の全国地図分析を、時間的に拡大展開し、日本の農村地域の過去・現在・将来の農村地域の多様な構造を明らかにし、それに応じた将来的な地域像「政策・計画」論を、計画制度・手法と、各地域の現場における活動を重ね合わせ、その関係性に沿って導き出す。</p> <p>2018年度：2000年までの全国農業集落カードデータに2010年データを追加して、21世紀初頭の農村地域の変化に対応した農村地域構造特性を考察する。</p> <p>2019年度：第1回国勢調査時と現在の農村地域について国勢調査指標を用いた比較を行い、近代初期と現在の潜在的な管理・運営力とその変化について考察する。</p> <p>2020年度：2018・2019年度の地域構造分析結果をもとに、多様な農村地域で展開する活動とその地域計画課題を、現地調査等で把握・整理する。</p> <p>2021年度：農村地域構造類型より読み取れる地域課題と展開する活動、それらに対応するための制度を検討し、地域構造分析から計画論への展開を提言する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：坂本淳二 (摂南大学) 幹事：杉田昌也 (MSCパートナーズ㈱) 委員：岩田俊二 (NPO法人弱者のための暮らし・まちづくり支援センター)、 川嶋雅章 (明治大学)、高橋隆博 (地域・建築設計工房)、高柳誠也 (東京大学)、 吉田肇 (宇都宮共和大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2005年以降の農業センサス農業集落データについて、集落立地・社会に関する指標を時系列に整理し、分析の基礎情報を作成した。 2. 農業集落分析の新たな視点として、2015年農林業センサスの新規調査項目であるネットワーク型集落活性化活動を着目し、集落毎のデータを整理した。
委員会活動の問題点・課題	1. 農林業センサス農業集落調査は、2005年前後で調査対象集落の設定が大幅に変更されており、時系列分析データの整備に相当の時間を要する。 2. センサスデータ購入等の予算不足のため、限定された指標のみの分析しか行えない。 3. 建築学分野内外の関連研究分野の研究者等との情報交換・交流の必要。